

抗 MOG 抗体関連疾患が疑われ脳生検を受けられた患者さんの 診療情報等を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会の審査を受け、病院長承認のもと、下記の学会発表に試料・診療情報を提供しています。

当該学会発表に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には対象としますので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、お申し出の時期によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

課題名 (提供先機関 研究責任者)	血清抗 MOG 抗体陽性患者に見られた、形成異常が疑われる症例 (埼玉医科大学医学部病理学 提供先機関研究責任者氏名 岩下広道)
背景	<p>抗 MOG 抗体関連疾患（以下 MOGAD と呼びます）は中枢神経（脳・脊髄・視神経）の病気で、免疫の異常により脳・脊髄・視神経が障害されて引き起こされる自己免疫性疾患のひとつです。この病気は免疫系に何らかの異常が起こり、正常な組織までも外敵として攻撃してしまう免疫抗体（自己抗体）が作り出され、中枢神経の神経線維が障害されて発症することが知られています。</p> <p>中枢神経の神経線維は神経系の情報を脳内外に伝達する役割を担いますが、その構造は電線に似ていて、「軸索」という芯の周囲を「髄鞘」と呼ばれるカバーで絶縁体のように覆って構成されています。MOGAD は「髄鞘」の一部を構成する「ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク（Myeline oligodendrocyte glycoprotein : MOG）」という成分が自己抗体（抗 MOG 抗体）により壊されて、「軸索」がむき出しになり（これを「脱髄」と呼びます）神経系の情報伝達が障害されてしまうため、様々な神経症状が出現します。</p> <p>近年 MOGAD は視神経炎、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、横断性脊髄炎、視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）などの病型を含む幅広い概念として認識されており、乳児期から成人期まで幅広い年代で発症します。急性散在性脳脊髄炎（ADEM）の病型で発症した場合、意識障害や行動の変化、けいれん、運動障害（手足の麻痺）、失調（座位が不安定、まっすぐ歩けない）などの症状が現れます。頭部 MRI 検査で脳や脊髄にいくつかの脱髄病変が見つかり、血液または髄液に抗 MOG 抗体が検出されると MOGAD と診断されます。治療には副腎皮質ホルモンの投薬治療を行います。</p> <p>一方、脳や脊髄の病変が局所的で頭部 MRI 検査で脳腫瘍などの腫瘍性病変との区別がつきにくい場合があり、その場合は脳組織の一部を採取して病理検査で細胞の形態・性状を調べる必要があります。この病理検査を脳生検検査といいます。</p> <p>脳生検検査で両者を判別することは、治療の上で大変重要です。脳腫瘍には手術や抗がん剤治療、放射線治療などが必要となりますが、MOGAD には副腎皮質ホルモンの投薬治療が必要で手術や抗がん剤治療などは必要ありません。</p>
目的	脳 MRI 検査ならびに脳生検検査においても脳腫瘍との判別が難しかった脳生検組織を、

	多くの専門家に供覧していただき、脳病理診断の教育に寄与する一例となると考えます。							
実施期間	【学会開催期間】西暦 2026 年 6 月 25 日から西暦 2026 年 6 月 27 日まで 【情報の提供開始日】病院長が許可した日～西暦 2026 年 6 月 27 日まで							
概要	<p>【対象となる方】 当院で血清抗 MOG 抗体陽性で脳生検を受けられた方</p> <p>【発表について】 診療のために撮影した画像を用いて、学会に発表いたします。</p> <p>【提供する診療情報】</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/>年齢 <input type="checkbox"/>性別 <input type="checkbox"/>身長 <input type="checkbox"/>体重 <input type="checkbox"/>写真【部位： 】</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>病歴 <input type="checkbox"/>既往歴 <input type="checkbox"/>治療歴 <input type="checkbox"/>予後</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>臨床検査データ【血清抗 MOG 抗体*】、血清抗 AQP4 抗体**、髄液所見】</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>画像データ【当院入院時の MRI 画像】</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>アンケート【 】</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>有害事象【 】</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>その他【 】</td> </tr> </table> <p>*抗 MOG 抗体：上記、背景に記載。 **抗 AQP4 抗体：アクアポリン 4(AQP4)というたんぱく質に対する自己抗体。アクアポリン 4 は中枢神経や視神経の神経線維を取り巻く軸索に存在するたんぱく質で、この抗体が陽性であれば、この自己抗体による脱髄性疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎）が疑われる。</p> <p>【情報等の管理】 上記の診療情報を提供先機関研究責任者に提供します。</p> <p>●情報の提供方法 上記、提供する診療情報すべての個人情報を匿名化して、CD-ROM に保存して、埼玉医科大学に郵送します。</p> <p>●情報の管理責任者</p> <p>【提供先機関】 埼玉医科大学医学部病理学 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地 TEL: 049-276-1164 提供先機関研究責任者：助教 岩下広道</p> <p>【提供元機関】 独立行政法人国立病院機構九州医療センター 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 TEL：092-852-0700 研究責任者：病理診断科・医長 藤原美奈子</p>	<input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> 身長 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 写真【部位： 】	<input type="checkbox"/> 病歴 <input type="checkbox"/> 既往歴 <input type="checkbox"/> 治療歴 <input type="checkbox"/> 予後	<input type="checkbox"/> 臨床検査データ【血清抗 MOG 抗体*】、血清抗 AQP4 抗体**、髄液所見】	<input type="checkbox"/> 画像データ【当院入院時の MRI 画像】	<input type="checkbox"/> アンケート【 】	<input type="checkbox"/> 有害事象【 】	<input type="checkbox"/> その他【 】
<input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> 身長 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 写真【部位： 】								
<input type="checkbox"/> 病歴 <input type="checkbox"/> 既往歴 <input type="checkbox"/> 治療歴 <input type="checkbox"/> 予後								
<input type="checkbox"/> 臨床検査データ【血清抗 MOG 抗体*】、血清抗 AQP4 抗体**、髄液所見】								
<input type="checkbox"/> 画像データ【当院入院時の MRI 画像】								
<input type="checkbox"/> アンケート【 】								
<input type="checkbox"/> 有害事象【 】								
<input type="checkbox"/> その他【 】								
個人情報の取扱い	研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、学会発表に使用します。							

相談窓口	提供先機関の 相談窓口	埼玉医科大学医学部病理学 提供先機関研究責任者：助教 岩下 広道 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地 電話番号 049-276-1164
	当院（提供元）の 相談窓口	九州医療センター 病理診断科（医長） 藤原美奈子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700